## 令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大成小学校】

6	次年度への課題と学力向上策	
知識·技能	次年度に向けて	
思考·判断·表現	<b>未評価</b>	

	<u>(1)</u>	今年度の課題と学力向上策		
	U	学習上・指導上の課題		学力向上策【実施時期·頻度】
	知識·技能	<学習上の課題> 国語「言葉の特徴や使い方に関する事項」 <指導上の課題>基礎的な知識、技能の定着を図る だけではなく、その知識、技能の活用場面の設定が不 十分である。	<b>*</b>	書き込み式ドリルやドリルパーク等の活用を通して、一人ひとりの 課題に合った学習方法等に取り組めるように指導する[週に1度] 児童が主体的に取り組めるような言語活動を設定した授業を実施 する。【学期に1度】
1	思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語「話すこと・聞くこと」 〈指導上の課題>他者に自分の考えを伝える活動 や、他者の考えを受け入れてよりよい考えを導き出 す機会の設定が不十分である。	<b>*</b>	他者の考えを受け入れられるように、確実に話を聞くことを主眼に置いて指導を行う。【毎時間】 ICTを効果的に活用し、児童が自分の考えを様々な形でアウトプットする機会を設定する。【月に1度】

## <小6・中3>(4月~5月)

5	評価(※)	調査結算力向上策の実施状況	
知識·技能	(1) (2) (3)	店果分析(管理職・学年主任等) 詳細分析(学年・教科担当) 分析 <u>共有(</u> 児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	童生徒の学力の
思考·判断·表現		結果提供(2月)	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

4	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識·技能	
思考·判断·表現	

	2	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)		
P	知識·技能	国語の、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる問題の正答率に児童によって差が見られた。複数の読み方や同音異義語がある中で、文脈に応じて適切な漢字を選択し、正確に書き表す力に個人差が見られたので、漢字の確実な習得と活用力のさらなる向上を図る。		
	思考·判断·表現	国語の、複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめることができるかどうかを見る問題に課題が見られた。目的 に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けるために、文章の中から必要な情報を取捨選択したり、 整理したり、再構成したりする力の育成を図る。		

## ①結果分析(管理職·学年主任等 ②詳細分析(学年·教科担当)

	22			
	3	3)分析五	中間期報告	中間期見直し
		評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期·頻度】
	知識·技能	B 中間i	学年や発達段階に合わせて、基礎基本の定着を図る確認 テストの計画を児童に示すなどの工夫をし、書き込み式 のドリルやドリルバーク等を活用しながら漢字を正しく 書く力の定着を進めることができた。一人ひとりに合っ た学習方法等に取り組むための指導については、頻度に 差が見られた。	変更なし
	思考·判断·表現	目標・記 B	人間関係プログラムで学んだ話の聞き方についてのスキルを含め、国語の授業を中心として、話し方・聞き方の指導に力を入れた。他教科等の指導の際にも、意識できるように指導した。国語の授業を中心に、児童一人ひとりの考えをアウトブットする機会の設定を意図的に設けているが、頻度やICT活用について課題がある。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)